



江南小だより

八戸市立江南小学校 学校だより
令和 2年 5月 28日 発行
通算 第 508号

教育目標 強い子になろう

「7」という数字が輝くように

校長 花生 典幸



学校が再開して、3週間あまりが過ぎようとしています。変則的な日課の中での毎日とはいえ、子どもたちは、学校での生活リズムをだいぶ取り戻したかなといった印象で、毎日なかよく元気いっぱいにご過ごしております。例年5月の後半に予定していた「運動会」を、今年はやむなく秋に延期せざるを得なくなりました。子どもたちも保護者の皆さまも残念に感じていることと思いますが、その分、3月・4月に残してきた勉強の遅れを取り戻すべく、今は毎日の授業の充実に努めていきたいと考えております。よろしくお願ひします。

さて、先日の全校集会（5月26日）の際に、子どもたちに「7」という数字を示し、「今年の江南小学校にとって、この数字はとてとても大事な数字です」ということをお話ししました。（校は校長、児は子どもたち）

- 校 みなさんは、【7】という数字から、どんなものを想像しますか？
- 児 「一週間」「虹」「七福神」「ラッキー7」「七大陸」「七つの海」……
- 校 わたしが【7】という数字から真っ先に思いつくのは、実は…（そう言いながら、写真を3枚見せました。写真には、現在の6年生7人が写っています）。
- 児 （意外なものに驚いたような顔で、興味深げに見ています）
- 校 今年の6年生は、みなさんも知っているように7人です。7人しかいません。

6年生はよく、学校の「機関車」というふうには呼ばれます。機関車は、列車の先頭にあって、後ろにつながる「客車」を引っ張る役割をしています。実は、客車にはエンジンがついていません。自力では進むことができないのです。その客車を、機関車が、がんばって前に引っ張って進めてくれるのです。順調に進むかどうかは、機関車のがんばりにかかっていると言えます。

これを学校にあてはめてみると、6年生は「機関車」、2年生から5年生までが「客車」ということになるのでしょうか。

今年6年生になった7人も、これまでの6年生と同じように、**最上級生の自覚と責任をもってしっかりがんばってくれるものと思います。**でも、それでも間に合わない時があるかもしれません。**そんな時には、5年生のみなさんが後ろから支えて助けてくれたり、1年生から4年生までのみなさんも6年生に頼ってばかりいないで、自分たちでできることは自分でがんばったりしながら、全校が一つになって前に進んでいきましょう。**

がんばってくれますか？

- 児 はい！

元気いっぱいの子どもの返事を耳にして、すがすがしい気持ちになりました。わたしたち教職員も、“ラッキーセブン”の6年生7人が、今年一年しっかり輝けるようにサポートし、励ましてまいります。

